

令和 7 年度

第 1 回太子町学校教育審議会 会議録

日 時：令和 7 年 7 月 11 日（金）

午前 10 時 00 分～11 時 20 分

場 所：太子町役場行政棟 3 階ホール

第1回太子町学校教育審議会 会議録

1 開催日時 令和7年7月11日（金） 午前10時00分～11時20分

2 開催場所 太子町役場行政棟3階ホール

3 審議事項 太子町立龍田幼稚園の廃園について

4 出席委員 改發 裕子 委員 道前 弘志 委員 中村 君子 委員
柴原 辰秀 委員 岸野 竜治 委員 山本 秀人 委員
都築 文典 委員 平野 一雄 委員 土方 正孝 委員
森崎 芳樹 委員

5 欠席委員 なし

6 事務局 教育次長 福井 照子
管理課長 改野 学由
こどもえがお課長 肥塚 馨
こどもえがお課副課長兼指導主事 竹本 佳代
管理課係長 大上 香織

7 審議経過及び結果 以下のとおり

【審議経過】

1 開会

2 教育長挨拶

3 審議会委員・事務局職員の紹介

大上係長 《審議会委員及び事務局職員の紹介》

4 会長あいさつ

岸野会長

5 議事録署名委員の指名

岸野会長 《会議録署名委員に森崎委員と平野委員を指名》

6 職務代理者の指名

岸野会長 《職務代理者に都築委員を指名》

7 議事

糸井教育長 《教育長より会長へ諮問》

太子町立龍田幼稚園の廃園について（諮問）

《教育長退室》

《事務局より詳細説明》

8 審議

岸野会長 ただ今の説明に対しまして、何かご質問・ご意見等がございましたら、承りたいと存じます。

平野委員 預かり保育を除いて、幼稚園と保育所の子ども達の受け入れ時間数や入園所の条件が異なること、核家族や共働き世帯が増えたことから、幼稚園自体に入れづらくなっているように思います。また、龍田地区の人口が全く増えていないことも問題ではないでしょうか。今後人口が増えない限りは、園を存続させることもできないということで、廃園については致し方ないですよ。他地区の調整区域のことも含め、人口増についての今後の方針を検討をしていただきたいと思います。

福井次長 町の施策として、人口を増やすことについては課題の一つであり、調整区域の問題についても、各自治会と連携をとりながら、条件によっては新規の方でも家を建てられるような情報を提供するなど、人口減少に歯止めをかけ

られるよう努めているところでございます。しかし、ご指摘いただきましたように、龍田地区については全体的に調整区域ですので、市街化区域にならない限りは人口増は見込めません。この問題については、この場で検討することは難しく、今後町全体において検討すべく努めてまいりますので、ご理解ください。

平野委員

承知しました。龍田地区は物流拠点は多々できているため、昼間の人口は増えていると思いますが、元々の住民の人口が増えていないことがやはり根本的な問題ということをお伝えしたかったので、今後また町全体で検討のほどよろしくお願いします。

福井次長

貴重なご意見を賜り、ありがとうございます。

土方委員

年少を含め、太子町の人口及び世帯数は増加しているのですか。

福井次長

人口は微減であります。ただ、世帯数については増えております。単身者世帯が増えていることが原因かと思われます。

土方委員

世帯数は増えているけども、いわゆる「少子化」であり、子どもが増えていないということですね。昔と異なり、1世帯につき1〜2人の子どもがいるか、子どもがいない家庭も増えてきている状況ですよね。来年は丙午でありますし、益々子どもの出生率が見込めないという心配もあります。このような環境下ということもあり、廃園は仕方ないように思います。

森崎委員

就園率の停滞などのデータ等を見ますと、廃園は仕方ないかと思いますが、龍田地区の方からのご意見等はなかったのですか。

肥塚課長

現在龍田地区の未就学児については、皆さん別の園に通っておられますし、この地区には、認定こども園の「はおとの森こども園」がございます。こども園というのは、「幼稚園的機能」と「保育所的機能」の両方を併せ持っておりまして、当該園の幼稚園部分の定員枠においては、地元の方を優先にされておりますので、行く所には困らない状況ではあるかと思えます。そのため、今現在、龍田幼稚園に行かせたいなどといったご意見等はいただいております。

柴原委員

これからの未来というものは子どもにかかっていると思いますし、龍田地区の方々もそういう思いでいらっしゃると思います。ですが、先ほどの事務局の説明を受け、これほど子どもの人数が減っているという実態からしますと、廃園はやはり仕方ないという思いです。

山本委員

私の子ども達は龍田幼稚園を卒園しておりまして、園児達が徐々に減っていくのを当事者としても目にきておりましたが、休園前最後の5人になった時の運動会は龍田小学校と合同で行い、その際の演技等は人数が少なすぎて見ているほうも寂しいと感じました。ですので、私も廃園については仕方ないと思います。

中村委員 資料の「令和7年度龍田地区乳幼児数」を見ますと、1歳児の保育所等への就園率は80%と高く、両親ともに働いている世帯が多いことがわかりますし、園児が5名をきってしまうと、集団生活の中での幼児教育を行うのは難しいため、廃園は仕方ないと思います。他市町ではこども園化が進んでいるように思いますが、太子町の幼児教育に携わって来た者としましては、これ以上は太子町の幼稚園数を減らさないで欲しいという思いは強いです。

改發委員 現状を考えますと、このまま園を存続させても、集団生活を行うこともできませんし、幼稚園として機能することは無理だと考えます。私が約15年前に龍田幼稚園に勤務していた頃に担任していたクラスでも、既に8名ほどの園児になっておりました。1人1人と丁寧に向き合うことができる良い環境である反面、集団の良さを生かせるかどうかなど、保育をする上でも非常に難しく感じておりました。また、園舎も劣化が進んでおり、このままでは使用することもできないため、物理的にも厳しいかと思います。令和6年3月に、休園に向けた記念行事がありましたが、その際の雰囲気からも、もう存続することは難しいことを地域の皆さんも卒園児達も感じていたのではないのでしょうか。

都築委員 廃園の流れは仕方ないと思いますが、一度無くなったものを再度造ることは非常に難しいことであります。また、卒園児からしますと母園が無くなってしまうということは非常に寂しいと思います。ですので、個人的には存続をお願いしたいと思います。また、難しいとは思いますが、太田地区の子ども達も通えるように園区を変更できないものかと感じております。

岸野会長 皆様、諮問についてのご意見をいただき、ありがとうございました。それぞれの思いはあるかと存じますが、龍田幼稚園の廃園につきましては、致し方ないという意見が多かったように思います。

今後、子どもが増えた際などのニーズに対する対応は、事務局の方できちんと対応するようお願いします。

肥塚課長 当町は待機児童ゼロをめざしておりますので、今後子どもの出生数により待機児童が発生するなどということがありましたら、龍田幼稚園とはなりません。町内の認定こども園や保育所などがございますので、待機児童がないような施策を考えていく次第でございます。

岸野会長 それでは、当委員会として審議しました結果、廃園については致し方ありませんが、子どもの数の減少や教育効果だけではなく、今後の人口増に対する町の方針や幼児教育の大切さを守っていただきながら、廃園の方向で答申することでまとめさせていただいてもよろしいでしょうか。

改發委員 最後に1点だけお願いします。廃園において、これまでの卒園児達が在籍していた証や、龍田幼稚園の軌跡を形として残していただきたいと思ってお

りますがいかがでしょうか。

肥塚課長
道前委員

写真や記録等、保存するよう検討いたします。

園舎の利活用について、子どもに限定する施設を検討されているようですが、その理由についてご教示ください。

肥塚課長

龍田小学校の隣に園舎がありますので、子どものための施設がいいのではないかと考えております。詳細は今後検討していくことになっておりますが、公募型プロポーザルにて事業者を募集することになるかと思います。

道前委員

子どもの数が減少しているということは、龍田小学校の児童についても同様のことが言えますよね。そうしますと、子どもに限定せず、生涯教育を行う施設という形にしますと、世代を超えて活用することができ、将来性もあるように思いますがいかがでしょうか。

柴原委員

それについて補足ですが、子どもに限定する施設の「子ども」とは何歳くらいをお考えでしょうか。

肥塚課長

園舎利活用のアンケートにおいて、児童発達支援・放課後デイサービスなど子どもに関するサービスを提供する施設が望ましいという意見が多くみられました。太子町には、放課後デイサービスなどの施設は確かに不足しておりますので、利用したくても利用できないという状況もございます。そのため、義務教育を終了するまでの年齢の、障害のある子ども達が利用できるような施設が必要なのではないかと思っておりますが、これにつきましても今後検討させていただきたいと思います。

岸野会長

委員の皆様、貴重なご意見をありがとうございました。今回の審議会においては、龍田幼稚園の廃園について諮ることとなっておりますが、それに付随することで、園舎の利活用についての意見も多々頂戴いたしました。

それでは、以上の審議内容を答申書に取りまとめてもよろしいでしょうか。

ご異議がないようですので、諮問「太子町立龍田幼稚園の廃園について」、答申書の作成をお願いいたします。

ここで、諮問事項について答申案作成の間、暫時休憩します。

《暫時休憩・答申案作成・委員配付》

岸野会長

会議を再開します。

諮問「太子町立龍田幼稚園の廃園について」、先程の審議結果に基づき作成した答申案をお配りします。

事務局で答申案を朗読してください。

肥塚課長

《答申内容朗読》

岸野会長

ありがとうございます。それでは委員の皆様、答申案についてご意見等はご

ございますか。

ご意見がないようですので、本案を答申書とし、教育長に答申することに決定します。事務局は準備をお願いします。

《答申書押印・教育長入室》

10 答申

岸野会長

それでは、諮問「太子町立龍田幼稚園の廃園について」答申します。

令和7年7月11日、太子町教育委員会 様

太子町学校教育審議会会長 岸野 竜治

「太子町立龍田幼稚園の廃園について」について（答申）

令和7年7月11日付、太教笑顔第510号で諮問のあった「太子町立龍田幼稚園の廃園について」について、本審議会で慎重に審議を行った結果、下記のとおり答申する。

記、本審議会に諮問された龍田幼稚園の廃園については、令和6年度から休園となっている状況や今後の入園希望者数の見通しを考えると、教育上望ましい集団活動が困難であることからやむを得ないものとし、令和7年度末で廃園するという方針は妥当であるとする。

なお、審議会として、次のとおり意見を付する。

- 1 廃園後の施設の利活用について子どもの施設に限定せず、広く検討すること。
- 2 龍田幼稚園の記録等の保存について検討すること。 以上。

《教育長へ答申書手渡し》

糸井教育長

長時間にわたる審議をいただき、貴重なご意見をいただきましてお礼を申し上げます。今後皆様からいただきましたご意見を今後の施策に反映できるよう努力してまいりたいと思います。ありがとうございました。

岸野会長

本日の審議事項は以上ですが、他にご意見、ご質問等はありませんか。ご意見がないようですので、議事を終了し本日の会議を終了したいと思いますがよろしいでしょうか。事務局から連絡事項はありますか。

大上係長

《報酬について事務連絡》

11 閉会

岸野会長

本日は慎重なるご審議をいただきありがとうございました。

事務局におかれましては、本日の会議結果に基づいて、適切な事務・事業の執行をお願いしたいと思います。

また、委員の皆様におかれましては、円滑な審議会運営にご協力いただきありがとうございます。

それでは、これをもちまして、令和7年度第1回学校教育審議会を閉会いたします。

太子町学校教育審議会規則第4条に基づきここに署名する。

令和 17 年 8 月 4 日

署名委員

森崎 芳樹

平野 一雄

